

第39回神戸電鉄粟生線活性化協議会

日時：令和元年12月24日（火）
午前10時～午前11時5分
場所：三木市立教育センター 4階 大研修室

○事務局

皆さん、おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから第39回神戸電鉄粟生線活性化協議会を開催いたします。

私は、協議会事務局の三木市都市整備部長の〇〇と申します。よろしくお願いいたします。

はじめに、本日の委員の出欠状況について御報告をいたします。

本協議会の委員25名のうち、本日出席いただいております委員様は16名ございまして、過半数以上の出席をいただいておりますので、協議会規約第8条第4項の規定により本会議は成立していることを御報告いたします。

なお、三木商工会議所の副会頭でありました〇〇委員におかれましては、任期満了に伴いまして「常議員」という役職に変更されております。このため、後ほど御覧いただきたいと思いますが、配布資料1の協議会規約のうち委員名簿についても、併せて、変更いたしておりますので、御確認をお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、協議会会長の仲田三木市長より御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

○会長

皆さん、こんにちは。今日はお忙しい中、神戸電鉄粟生線活性化協議会にお集まりをいただきましてありがとうございます。厚く御礼を申し上げます。

本日も、前回8月6日に開催をさせていただきました協議会に続きまして、小野市の関係の委員さんが欠席をされております。御承知のとおり、前回、この会議、8月6日に開催をさせていただいたわけではありますが、翌日8月7日の新聞では、この協議会から小野市が脱退するというような一部新聞で報道がなされたところでもあります。そうしたこともありますので、開会に当たりまして、この事実関係だけ少し若干お時間をいただきましてお話をさせていただきたいと思っております。

新聞報道にありましてとおり、小野市のほうからは協議会を脱退するというお話が、前回、この協議会、8月6日でもございましたが、その日に、同じ日に開催されました小野市議会の議員協議会の場でそういう意向を表明されたということでもございまして、この粟生線活性化協議会、また、事務局である三木市に対してはなんの表明もされておられません。その後からも、我々に対してはなんの表明もないというのが現実でございます。

そうした中、今月5日でございます。12月5日に私どもの〇〇副市長、そして、〇〇都市整備部長の2人がこの協議会の副会長を務めていただいております小野市の〇〇

副市長さんにお出合いをさせていただきまして、この協議会に参加してほしいと、そして、もし御意見があるならこの場で言うてほしいという申入れをさせていただきました。しかしながら、その日の面会では小野市のほうからは今日も欠席しますよと、協議会の場では意見は述べませんという話、また、併せまして、本年度末をもって協議会を脱退する予定だというお話もあったところでございます。

8月の新聞報道によりますと、小野市のほうからは、かねてイベント中心の活性化から経営戦略的な議論への転換が必要と訴えてきたということが新聞に書かれておりました。しかしながら、これまでこの協議会の場で小野市さんからそうした具体的な発言、また、主張、提案などはなかったわけでありまして。少なくとも私が会長に就任しました29年8月以降、小野市からそうした提案、この場でもあったということは認識いたしておりません。

ここで、今日の資料にも入れさせていただいておるわけですが、この協議会の目的や役割について少し述べさせていただきたいと思っております。

規約にも書いてありますとおり、形成計画の作成に関する協議及び形成計画の実施に係る連絡調整を行うために設置されているのがこの会議でございます。また、業務内容につきましても、形成計画の策定及び変更の協議に関する事、形成計画の実施に係る連絡調整に関する事、形成計画に位置付けられた事業の実施に関する事などとなっております。形成計画を着実に推進するための場と位置付けられているのがこの協議会でございます。

先の新聞報道によりますと、粟生線をめぐる環境としまして、小野市は工業団地と檜山駅をバスでつないで、利用者を2万7,000人増やしたということが書いてありました。また、神戸市についても鈴蘭台駅周辺の再開発に取り組んでいる。よって、三木市だけが実効性のある対策を打ち出せていないと批判をされておるわけでございます。私どもも何をもって実効性があるのかないのか判断するのは明確になかなかしにくいところではありますが、さきほど申し上げました企業用地と駅を結ぶアクセスバスの導入、また、神戸市で行われております駅周辺の再開発、これについてはもう全て御承知のとおり形成計画に記載された取組でありまして、私どもとしては神戸市、小野市とともに計画に記載された取組を着実に実行しておると認識しておるところでございます。

三木市におきましても、例えばであります、神戸電鉄福祉バスの交付、また、市内外の新規就労者に対する通勤の定期運賃の助成、また、学校等の行事に係る神戸電鉄の利用助成など、この形成計画に記載された利用促進策、これを現に積極的に取り組んでおるということであります。

例えば、三木市独自の取組だけ申し上げますと、利用者数のカウント換算が可能なものだけに絞りましたが、平成30年度単年度の実績ベースで年間8万5,000人の粟生線利用を生み出していると考えておりました。小野市の批判はなんら当たらないというふうに考えております。

例えば、三木市におきましても、小野市さんが主張されるまちづくりの観点から申し上げます。例えば、本年度の予算で志染駅北側と南側の一体利用、また、駅南側の

土地の有効活用に向けた取組に着手をしております。また、焼失しました三木駅の再生に向けて駅前広場、また、駅舎の整備に取り組んでおりますし、また、三木のかたは御承知のとおり、緑が丘地区をモデルとして生涯活躍のまち推進機構のサテライト拠点を設け、いわゆる移住定住対策にも取り組んでいるというのが三木市の取組であります。

こうしたまちづくりと一体となる取組をしておりますし、粟生線の利用促進にも結び付く施策にも取り組んでいるところであり、小野市さんがおっしゃる批判を受ける筋合いはないと私どもは思っております。

なお、おっしゃっておりますとおり、小野市が主張されているように経営戦略的な議論、これについても当然必要だと認識しております。しかしながら、こうした議論は粟生線の経営など根幹的な部分に関わり、また、今後の粟生線支援の在り方にも大きく影響することから、粟生線の活性化、利用促進について協議しているこの協議会にはなじまず、協議会とは別の場で私どもは議論すべきであると考えております。

申し上げますと、こうした議論が行えますように、非公開の場ではありますが、広域的な観点から兵庫県が事務局となりまして、これまでから「神戸電鉄粟生線のあり方勉強会」というのが設置をされております。そうした観点から申し上げますと、小野市さんにおかれましてもこの勉強会に出席して、経営戦略的な議論について主張をされるべきではないかと思っておりますが、しかし、この場におきましても小野市さんからはそうした積極的な発言はないと聞いております。

私どもといたしましては、小野市においても形成計画に記載された施策を着実に推進していくためにも、欠席ということではなく、ぜひ協議会に出席をしていただき、議論に参加をしていただきたいという思いでございます。

私も当然、小野市も含め沿線市の皆さんが一体となって利用促進に取り組むことが重要と考えておりますので、そういう現状であることを、今、御報告させていただきたいと思っております。

やはり事実関係を一度述べておく必要があると思ひまして、あえてお話をさせていただいたところであります。事実といたしまして、また、この活性化協議会の場でも、事務局である三木市に対しても小野市さんから何もそうした表明がなかったということだけは、御報告をさせていただきたいと思ひます。

それでは、早速であります、今日の議論に入らせていただきたいと思ひます。

本日のこの協議会におきましては、この令和元年度はさきほどから申し上げております形成計画の対象期間の中間年度に当たるということになっておりますので、その中間評価の方針について協議をお願いしたいと考えております。また、報告事項として粟生線の利用状況のほか、さまざまな利用促進策の取組についても報告をさせていただきますので、どうか忌憚のない御意見をお聞かせいただき、最後までよろしくお願ひをしたいと思います。どうぞよろしくお願ひをいたします。

○事務局

はい、ありがとうございました。

それでは、次第2、議事事項に入ります。

これからの進行につきましては、仲田会長にお願いをいたします。よろしくお願いいたします。

○会長

それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。

議事事項、「神戸電鉄粟生線地域公共交通網形成計画」の中間評価方針について、まずは、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

失礼します。都市整備部交通政策課課長をしております〇〇と申します。

この議事につきましては、私のほうから説明をさせていただきます。

説明につきましては、着座の上、失礼をいたします。

それでは、お手元の資料1でございます。形成計画の中間評価方針についてということになります。この計画につきましては、平成29年度から令和3年度までの5か年度の計画ということになっております。令和元年度につきましてはその計画の中間年度に該当するということもございますので、計画に基づく取組事業の効果検証、それから、取組改善を図るということから、計画の中間評価の方針を定めさせていただきました。この内容についての御説明でございます。

まず、見出しの1番、中間評価方針でございますけれども、かつこの1つ目であります。形成計画の数値目標、米印を書いております。その一番下に参考として掲げております。計画を作る際に協議会の委員の皆様にも御議論いただきまして、6つの数値目標ということで定めたところでありますが、この数値目標につきましては、平成29年度から令和元年度までの実績値を算出いたしますとともに、目標値に対する達成状況を評価するというところであります。

形成計画の数値目標ということで下のほうに書いておりますけれども、例えばですけれども、「新型車両への更新による安全で安定した輸送サービスの確保」ということで、計画策定時には基準値としてはありませんでしたけれども、令和3年度の目標年次までには5編成を編成するというような目標。その下の「鉄道とアクセスバスの平均待ち時間」、計画を作った際には10分という基準でございましたが、これを令和3年度までには8分に短縮するといったような目標であります。

それから、見出しの1番の(2)番というところです。今(1)番で申し上げた数値目標の評価のほか、計画全体の目標、理念、基本方針に照らしまして、計画の中の各事業の取組状況についても評価をいたしたいと考えております。

それから、(3)番です。(1)、(2)の評価を踏まえまして、各事業の課題、継続性及び見直し内容等を検討いたしまして、取組改善を図っていきたいということでございます。

2番の中間評価の実施時期でありますけれども、これは来年度、令和2年度の上期に行うということで予定しております。令和元年度の実績あるいは決算が確定しだい、速やかに中間評価の作業に移ってまいりたいと考えております。

それから、3番の中間評価の公表時期でありますけれども、これは現段階の予定でござ

ございますけれども、来年度、令和2年度の第2回目のこの協議会、通常でしたら毎年8月、お盆前ぐらいに開催をさせていただいておりますけれども、特段の事情がなければ同じ頃、8月頃にこの協議会におきまして報告をさせていただき、公表してまいりたいというふうに考えているところでございます。

以上、駆け足でしたけれども、中間評価方針というところについての御説明といたします。よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございました。

中間評価の方針について、今、事務局から説明をさせていただきました。

この方針について御意見等がございましたら、挙手にてお願いをいたします。

どうぞ。

○○○委員代理

兵庫県の交通政策課の○○です。今年度が中間年度に当たるということで、たしか今年度の初めの第1回目の協議会のときに今年度評価を実施するという説明があったかと思っただけですけれども、今回、実施方針を決めるという形で、少しペースが遅れている感じを受けるんですけれども、まず、その点について御説明いただけたらと思います。

○会長

事務局、お願いします。

○事務局

中間評価、当初、実施するという表現だったかと思うんですけれども、やはりきっちりとした成果指標に対する評価を行うという意味では年度途中ではなくて、やっぱり実績あるいは決算が出た上で評価をさせていただきたいということで、このたび、大きいところの部分ですけれども、方針を定めさせていただいて、その方向性でやらせていただきたいと、そういうことでございます。

○会長

いかがですか。

○○○委員代理

今年度末の成果をもってやっていくというのは一つの考え方としては理解できるんですけれども、参考値という形で基準値を上げてもらっていますけど、これとの対比でやるということかと思っておりますけれども、これでみましても、策定された直前年の成果がなかなかデータとしてはまとまりきらないのかな、少し時期がずれないと出てこない数字なのかなというふうに感じます。ですから、今年度の実績値そのものが来年度の上期で出てきて、それを評価できるかという、なかなかしんどいかなと思いますので、今の時点での最新のデータとなると、前年度か一昨年度になるかもしれませんが、これとの対比でないとなかなか上期での評価というのは難しいんじゃないかなというふうに感じますが、その点についていかがでしょうか。

○会長

事務局、どうぞ。

○事務局

項目によりましては、直近の数字が取れない項目がひょっとしたらあるかもしれませんが、また、ちょっとその辺りは取り得る最新の指標をもちまして、また、この協議会の場で報告をさせていただければというふうに考えております。

○会長

よろしいですか。

ほかに御意見は。どうぞ。

○○○委員

今の○○委員のお話をするんですが、来年の8月には報告するというので、作業そのものは始まり出すということで、年間鉄道利用回数とか、その辺りの数値はたぶん年度末過ぎれば固まるはずなので、ある程度固まったところで判断するという理解でいいのかというのが一つと、もう一つは冒頭、会長からお話がありました小野市さんの関係、沿線に小野市が入っているので、実際、指標に小野市さん関係のデータも要るか。その辺りの少なくともその協力だけは事務局からもよろしく調整をお願いしたいと思います。

○事務局

まず、1点目のある程度、今の段階から取り組んでいける部分については、当然、取り組んでいくということで指標のほうをまとめていきたいというところで考えております。

それから、2点目の小野市さんの件でございますけれども、こちらにつきましても、当然、成果指標の策定に当たりましては、検証に当たりましては、小野市の数値というものが必要となってまいりますので、協力依頼のほうは呼びかけてまいる所存であります。

○会長

よろしいですか。

ほかに御意見ございましたら。

ないようでしたら、この議事事項、本件につきまして御承認をいただけるものとしてよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

ありがとうございます。

では、本件は承認をされたということにさせていただきます。

続きまして、次第3、報告事項に入らせていただきます。

報告事項の1番、粟生線活性化の取組等に対する国への要望活動について、まずは、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

それでは、続けて失礼をいたします。資料2、粟生線活性化の取組等に対する支援に関する国への要望活動の実施についてということで御報告をさせていただきます。

こちらにつきましては、昨年度に引き続きまして、国への要望活動の実施をさせていただきました。

要望書本体につきましては、別途、資料としてお付けしております配布資料2というところに付けておりますので、また、適宜、御覧いただきたいと考えておりますが、まず、見出しの1、要望の趣旨ということで、これは大きく3点要望させていただいたところ です。

まず、1点目が栗生線の防災機能強化に対する支援、それから、2点目が沿線自治体及び地域の取組に対する支援、そして、3つ目が安全運行に必要な予算の確保ということで、この3点に重点を置いた要望としたところでございます。

2の要望者につきましては、本協議会の仲田会長をはじめとしまして、随行者、記載の4名で要望をさせていただいたというところであります。

3の要望実施日につきましては記載のとおり、本年の9月17日であります。

資料をめくっていただきまして、2-2ページをお願いいたします。

4の要望活動実績ということで、活動実績をまとめさせていただいております。

(1)の面会者4名と書いております。こちらにつきましては実際にお時間をとって面会をさせていただいて、直接要望させていただいたというかたであります。藤田耕三国土交通事務次官をはじめとして、4名ということであります。藤井比早之衆議院議員におかれましては要望の相手方であるとともに、この要望活動についても同行いただいております。

(2)のその他要望先ということにつきましては直接面会等はできませんでしたが、直接の手渡しなどによって要望書をお渡しさせていただいた相手先になります。

ページをめくっていただきまして、2-3ページにつきましては、要望の2日後になりますけれども、神戸新聞さんのほうに記事としても取り上げていただいたところあります。

この報告ですけれども、最後になりますけれども、この要望につきましては、多数の関係者の皆様の御理解と御協力によりまして実現をしたものであります。お世話になりました皆様がたにあらためて感謝を申し上げまして、要望活動実施の報告といたします。

○会長

ありがとうございました。

要望活動について何か御意見、御質問等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

また、最後にまとめてでもけっこうですので、ないようでしたら次に進ませていただきます。

栗生線の利用状況についてということで、神戸電鉄様から報告のほうをよろしく願います。

○○○委員

それでは、資料3に基づきまして御説明申し上げます。

例年、12月の協議会で上半期の利用状況について御説明をしておるわけなんですけれども、今期はちょっと特殊要因の影響がありまして、実態を現していないので、ちょっと11月までの実績も付けさせていただいています。したがって、資料につきましては3-1から4ということで、3-1と2が9月までの実績、3-3と4が11月までの実績ということになっております。

3-1、2のほうから御説明申し上げますが、当上半期におきましては2つ目の箱ですけれども、上記を基にした実利用者数ということで408万7,436人の御利用がありましたということで、これの内訳がその上の表になっておりまして、いつものように左側にお客様が乗車された駅の属する線が書いてあって、右側に降りられた駅の属する線が書いてあると。したがって、一番上の粟生線と書いている行を見ていただきますと、粟生線で乗られて粟生線で降りられたかたが88万9,129人、有馬線で降りられたかたが54万7,271人という形で右側に見ていただければ、粟生線で乗られてどこかで降りられたかたの合計が246万4,552人。今度は粟生線の縦列を見ていただきますと、どこかで乗られて粟生線で降りられたかたが251万2,013人ということで、これの合計を、この2つを足して重複している粟生線で乗って粟生線で降りたところを引くと、さきほど申し上げたように408万人という数字になってございます。

各駅別に見た場合に、1日当たりの乗降であるとか、どういう利用状況になっているかというのが、いつものように下の表に落ちているということを見ていただいたらいいんですけれども、次の3-2を見ていただきまして、同じような表の見方で、今度は昨年との対比をしております。

これを見ていただきますと、ほとんどのところでプラス表示になっていると。粟生線の利用者の減少が止まらない中で上半期はプラスであったということなんですけど、これはさきほど申し上げました特殊要因の影響がございまして、昨年度は災害がかなりありました。7月豪雨に始まりまして、台風20号、21号、24号、こういったものが7、8、9とこの3か月に集中して起こりまして、粟生線でも数多く運休があったということですので、今年はそれがなかったということから、その反動で増えていると、そう御理解いただければということです。

ちなみに、前回の協議会で御説明させていただいた4月から6月の実績で申し上げますと、対前年でマイナス1.6%、マイナスであったということなんですけど、ここの2つ目のところを見ていただくとプラス2.4%ということで、それだけ反動が大きかったということで、ここはプラスになってございます。

ここではちょっと状況が分からないということで、更に、2か月進めてみたらということで、11月までの累積表を出させていただいています。表面は2か月間進んだということで、2つ目の表のところ、546万9,241人ということで、当然、9月から増えるんですけれども、裏面というか、次の3-4のところの増減表を見ていただきますと、まだプラス表示ではあるんですけれども、2つ目の表の実利用者というところがプラス4万1,073人なんですけど、3-2のところを見ていただきますと、プラス9

万7, 267人ということで、この2か月間の間に5万人減っているということでございます。前回時点で6月までがだいたいベースとなりますよと申し上げておりますけれども、だいたいマイナス1.6%がずっと続いていっていますので、これはどんどん残念ながら数値は悪くなっていく、そう御理解いただければと思います。

今年は、例年に比べるとちょっと減りが大きいのかなと思っておりまして、本来、昨年の豪雨等の運休状況を踏まえますと、また、今年度がうるう年というようなことで営業日数が1日多いということも踏まえますと、少なくとも昨年度以上の利用があるというのが最初の見通しではあったんですけども、このままではちょっと危ういかなというところがございますので、それだけ厳しいというふうに見ていただいたらなと思います。

そういった運休等の影響があったんですけども、3-4の各駅別のところを見ていただきますと、この2か月の間に神戸市内駅がもうマイナスに転じているということでございますが、この神戸市内駅がマイナスに転じているというのは、減少数が大きいということもあるんですが、運休したときに西鈴蘭台から先が運休していたり、あるいは木津から先、あるいは押部谷から先ということで、運休を免れた時間帯があったというのも神戸市内駅の特徴でございますから、そういう意味では反動増が少ないということも言えますので、神戸市内駅からマイナスが出てきたというところです。

あと、特徴的なところで申し上げますと、ちょっと戻っていただきますが、3-2の表で各駅の恵比須を見ていただきたいんですけども、三木市内駅全てプラスなんですけど、恵比須だけ12.3%プラスということで、非常に突出して大きなプラスになってございます。これは9月に女子ゴルフの大会がございまして、車での利用をお控えくださいということで、恵比須駅からシャトルバスが出て、当社も増便をさせていただいたコニカミノルタ杯というのがございましたけれども、そこで後ほど内容についての報告もあろうかと思いますが、かなり多くのお客様に御利用いただいたと。恵比須駅はだいたい1日当たり1,000人そこそこの御利用なんですけど、4,000人、5,000人の利用が1日当たりであったということで、これだけ大きな数字が出ている。三木市内はゴルフ場が多く、大会も多く開催されている中で、そういった連携によって利用を増やすということは、この数字を見ていただいたらよく分かるかなと思いますので、今後もそういったところでの利用促進を図っていけたらなと思っております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

この件について何か御意見、御質問等がございましたら。

では、また、ありましたら、後ほどお願いします。

それでは、次に進ませていただきます。

報告事項3でございます。日本女子プロゴルフのコニカミノルタ杯、いわゆる渋野効果ですね。事務局から、事務局でなしに神戸電鉄さんからですね。

○事務局

事務局をさせていただいております神戸電鉄の〇〇から報告させていただきます。

さきほどの御報告の最後の部分とかなり重複するところもございますけれども、資料の4をお手元に御覧いただけますでしょうか。こちらに基づきまして御説明をさせていただきます。

前回の会議におきまして、臨時列車の運行予定ということでざっくりとした概要を御報告させていただきましたけれども、今回につきましては、その利用者数等を御報告させていただきますと思います。

まず、大会は9月12日から15日までございまして、4日間、予選ラウンドと決勝ラウンドがございました。前回の予定という中では予選ラウンド、臨時列車運行本数14本、決勝ラウンドでは16本、合計60本という御報告をさせていただいておりますけれども、12日の木曜日の予選ラウンドの状況を鑑みまして、決勝ラウンド、お客様、かなり来られるなというところを予想いたしまして、土日、決勝ラウンドにつきましては1本ずつ更に増やしまして17本、合計で縦合計62本という運行といたしました。

利用者数でございますけれども、一番左の日付の右側でございますけれども、予選ラウンドでだいたい3,000人前後、決勝ラウンドは5,000人、あるいは6,000人という御利用がございました。

さきほどの御報告の中でもございましたけれども、だいたいこの駅のその前の週の同じ曜日を確認いたしますと、だいたい平日で1,000人前後、土日になりますと700人、あるいは500人ということになっておりまして、これの縦計を差し引きますと、約1万4,000人という御利用の増がございましたというところがございます。やはりさきほど仲田会長からもございましたけれども、今年は特に渋野選手の効果が大きく、このような大きな利用増というところに結び付いておったかと思えます。

この下の写真につきましては当日の様子でございまして、左の下の写真を御覧いただきますと、送迎バスに御乗車いただくためにたくさんの列を作っておられるというところが伺える写真となっております。

以上、御報告でございます。

○会長

ありがとうございました。

この件について何か御意見、御質問はございますでしょうか。

ありがとうございます。なければ、次に進ませさせていただきます。

報告事項4、「栗生線スタンプラリー」の応募状況について事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

神戸市公共交通課の〇〇より御説明させていただきます。座って失礼いたします。

資料5、「栗生線スタンプラリー」の応募状況についてということで、こちら、昨年度初めて取り組んだものでして、今年度が2回目というものになっております。今年度も昨年度とだいたい同じ時期にやっております、10月1日から12月15日までの

期間で実施しております。12月20日が当日消印有効となっておりますので、ちょっとまだ全ての集計はできていないんですけれども、12月17日現在の応募者数ということになりますと624人ということになっております。

応募状況なんですけれども、下の表を見ていただきまして、1つ目の表が各駅の実績状況になっております。一番多かったのは西鈴蘭台駅で232枚、37%。続きまして、三木駅の184枚、30%となっておりますが、比較的バランスよく、皆さん、押し上げていただいたのかなと思っております。

下の表が観光施設における実績状況でして、こちらにも比較的バランスよく押し上げていただいているのかなという印象ですが、一番多かったのは「しあわせの村の温泉健康センター」で33%。続きまして、「三木鉄道ふれあい館」の30%ということで、上の駅の多かったところに近い観光施設が大きくなっているというようなイメージかなと思います。

以上です。

○会長

ありがとうございました。

「粟生線スタンプラリー」についてでございます。何か御意見等、御質問はございませんでしょうか。

では、先に、まずは、進めさせていただきます。

報告事項5、鉄道とバスの広域時刻表の発行について、報告を事務局からお願いします。

○事務局

三木市都市整備部交通政策課の〇〇と申します。資料6につきまして、私のほうから説明させていただきます。

着座にて失礼をいたします。

お手元のほうに資料6、鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の発行についてという資料と、配布資料といたしまして、一番末に「粟生線&バス乗継ガイド」の原本のほうを御用意しておりますので、併せて、そちらのほうもお手元に御準備いただけたらと思います。

こちらの「粟生線&バス乗継ガイド」につきましては、形成計画の基本方針1「鉄道を軸とした地域公共交通網の維持・形成」における「鉄道とバスの連携強化」に基づきまして発行をしております。発行内容といたしましては、平成30年度に引き続きまして、粟生線時刻表と粟生線各駅から利用できるバス時刻表が一体となった広域時刻表の発行としております。それ以外にも鉄道とバスの接続のほか、各駅におけるタクシー乗り場、駐車場、駐輪場の有無等の情報を提供しまして、公共交通の利用を促進しております。

発行部数につきましては、昨年度と同様、1万5,000部。発行日といたしましては令和元年10月29日ということで、10月のバスのダイヤ改正にも対応した内容となっております。

設置箇所につきましては、神戸電鉄各駅及び各公共施設等ということで、事業費は記載のとおりとなっております。

簡単に「粟生線&バス乗継ガイド」の中身のほうを御説明させていただけたらと思います。

まず、こちらのガイドの表紙をめくっていただきまして、2ページ目から5ページ目につきましては「駅からバスでぶらり旅」と題しまして、粟生線の駅からバスへの乗継ぎによりましてアクセスできる観光施設の情報を掲載いたしました。観光施設の概要説明に加えまして、駅周辺の地図でありますとか、このガイドにはバスの時刻表も付いておりますので、バスの時刻表のページ数、あるいは参照箇所を明記することによりまして、このガイドを手にとって鉄道とバスを乗り継いで観光していただけるような内容ということで工夫をいたしました。

続く6ページ目から13ページ目につきましては粟生線の時刻表、14ページ目から17ページ目につきましては各駅から発車するバスの時刻表を掲載しております。

続く18ページ目につきましては、パークアンドライド駐車場や粟生線サポーターズクラブのお知らせ等を掲載しております。

裏表紙につきましては、さきほど御報告いたしました「粟生線スタンプラリー」のチラシとなっておりますけれども、「粟生線スタンプラリー」のラリーポイントとこのガイドの「駅からバスでぶらり旅」に掲載した観光施設につきましては、互いにリンクさせておりますので、このガイドを手にとって鉄道とバスの時刻表を確認いただいて、この「粟生線スタンプラリー」にも御参加いただけるような内容になるよう工夫、配慮をいたしました。

以上、鉄道とバスの広域時刻表「粟生線&バス乗継ガイド」の発行についての説明とさせていただきます。

以上です。

○会長

ありがとうございました。

それでは、本件について御意見、また、御質問等がありましたら、よろしく願いをいたします。

では、次に進ませていただきます。

報告事項6、「三木金物まつり」と連携した協議会事業の実施について事務局から報告をお願いします。

○事務局

失礼します。三木市交通政策課の〇〇でございます。座って説明させていただきます。

そうしましたら、お手元の右上に資料7と書かれました資料を御覧ください。

こちら、「三木金物まつり」と連携した協議会事業の実施でございます。

「三木金物まつり」につきましては、11月2日、3日に開催しております。この金物まつりと連携しまして、協議会におきましても今回は3つの各種イベントを実施して

おります。

まず、1つ目が粟生線車内でのイベント列車のイベント、2つ目が金物まつりのシャトルバスの発着駅であります恵比須駅前でのイベント、最後、3つ目が金物まつり会場でのイベントとなっております。

それでは、まず、最初の1つ目のイベント列車のほうから説明させていただきます。

まず、1つ目としまして、「しんちゃん&てつくん電車で三木金物まつりへGO！」の実施でございます。実施日につきましては、金物まつり初日の11月2日に実施しております。行程としましては谷上駅を10時3分に出まして、鈴蘭台でスイッチバックをしまして、恵比須駅に11時13分に到着する行程でございます。恵比須駅到着後、解散となりまして、会場までは通常のシャトルバスを御利用していただいております。参加者数としましては、子育て向けのイベントとしまして親子で27人の参加でございます。参加費は大人1,000円、子ども500円、3歳以下のお子様につきましては無料となっております。

イベント内容につきましては、谷上駅構内で神戸電鉄様のマスコットキャラクター「しんちゃん&てつくん」との写真撮影会、また、車内には三木市出身のアーティスト衣川亮輔さんによります演奏、また、「しんちゃん&てつくんのうた」という歌の初めてのお披露目を催しております。

また、車内ではお菓子の工房ナオエ様の「特製しんちゃんケーキ」のお披露目会及びお食事会をしております。更に、「しんちゃん」グッズ争奪じゃんけん大会であるとか、鉄道関連キーワードクイズの実施をしております。また、参加されたお客様につきましては、松山製パンの「山田錦のクロワッサントースト」の贈呈等を行っております。

また、車両につきましては記念ヘッドマークを掲出いたしまして運行いたしております。

1つめくっていただきまして、7-2には実施のイベントの写真に掲載させていただいております。上から谷上駅の構内の写真であるとか、車内での写真、最後に、車両のヘッドマークを掲載させていただいております。

このイベントのチラシにつきましては、この資料の後ろから2つ目に付けさせていただいておりますので、また、御覧ください。

続いて、7-3を御覧ください。

こちら2つ目のイベントでございます。こちらは恵比須駅前におけます駅の出張販売の実施でございます。こちらにつきましては兵庫県さんの協力も得まして実施しております。出張販売名としましては、「神戸電鉄粟生線恵比須駅に行こう！」でございます。こちらのパンフレットにつきましては、この資料の一番後ろに付けております。また、御覧ください。

実施日としましては、11月2日及び3日の11時から午後3時まででございます。恵比須駅ロータリー前に洋菓子店であるとか、ハンバーガー店であるとか、また、2日目のみ三木市のパン屋さんにもお越しいただいております。

また、恵比須駅の一般利用者、あと、「しんちゃん&てつくん電車で三木金物まつりへGO!」の参加者及び地元住民に対しまして、出張販売店舗への誘客を行うとともに、サポーターズクラブのチラシであるとか、栗生線スタンプラリーのチラシであるとか、協議会の周知・PRを行っております。

更に、2日目の日曜日につきましては、地元の団体であります「大塚日曜朝市の会」が主催します「日曜朝市」とも共同開催しまして、恵比須駅前の更なるにぎわいづくりに寄与しているところでございます。

下には当日の2日間の写真を掲載させていただいております。

続きまして、7-4を御覧ください。

3つ目のイベントとしまして、こちらは例年行っております「三木金物まつり」会場における神戸電鉄栗生線活性化協議会ブースの出展でございます。こちらは2日、3日の2日間にわたり出展しております。今回は会場が三木山総合公園に変わりました、こちらの官公庁スペースで実施しております。出展内容としまして、1つ目は「三木金物まつり」と連携した企画乗車券「三木金物まつり1dayチケット」を金物まつりの実施日に発行しておりますが、こちらを購入されたかたに対しまして「しんちゃん」グッズを贈呈するとともに、ガラガラ抽選くじを実施しまして、当選者には松山製パン様の山田錦ラスクを贈呈しております。抽選くじの参加者としましては、1日目が119人、2日目が79人、合計198人となっております。

2つ目としましては、サポーターズクラブのチラシであるとか、スタンプラリーをはじめ、協議会のPRをしております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

金物まつりと連携した事業の実施ということで、御意見、御質問等はございますでしょうか。

では、次へ進ませていただきます。

報告事項7、令和元年度の協議会事業の取組について、引き続き、事務局から説明をお願いします。

○事務局

それでは、お手元に資料8、それから、資料9を御用意いただきまして、令和元年度の協議会事業の取組状況、それから、モビリティ・マネジメントの取組状況について御報告させていただきます。

まず、資料8のほうです。こちらのほうを御確認させていただきたいと思っております。

記載内容が大変多くなっておりますので、1ページについて2、3項目を抜粋するような形で御報告できたらというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは、資料8です。黄色い網かけ、縦列に1、2、3と番号が振ってありまして、こちらのほうが事業番号ということで、こちらのほうを読み上げながら御説明の

箇所に触れていきたいと思えます。

まず、事業番号の2と3でございますけれども、こちら、神戸電鉄様が販売したネスタリゾート神戸様と神姫ゾーンバス様と連携した「ネスタリゾート神戸（電車・バス&プール）格安クーポン【土日祝日・お盆期間限定】」の販売の状況を書いてございます。こちらのほう、本年度は新たに神姫ゾーンバス様もこの企画乗車券に参画をいただきまして、販売を実施したというところと、それから、神姫ゾーンバス様におかれましては、この企画乗車券の販売に伴いまして、緑が丘駅からネスタリゾート神戸様を結ぶバス路線のダイヤ改正も実施いただいております。乗継時間につきましては最大で25分の短縮も図っていただいております。その辺りの取組をこちらのほうに掲載しております。

それから、事業番号5、それから、7、9というところですが、こちらは神戸市様の鈴蘭台駅周辺の再開発の動きを記載しております。車、タクシーの乗降スペースなどの整備を本年度末までに実施の予定ということで取組状況を記載しております。

このページが一番下の項目ですけれども、事業番号10番「鉄道施設の更新・改良による安全で安定した輸送サービスの確保」ということで、従来に引き続きまして、国、県、沿線市による協調補助、それから、三木市独自の取組となっておりますけれども、車両更新に係る独自補助も、引き続き、本年度も実施予定というところがございます。

1ページめくっていただきまして、一番上の事業番号11番でございますけれども、「鉄道施設の更新・改良に合わせた輸送サービスの改善」ということで、本年度も神戸電鉄様におかれまして新型6500系車両の新造1編成を実施いただいております。

それから、下のほうに目を移していただきまして、事業番号17番でございます。「観光資源、観光拠点を結ぶバスルートの整備」ということで、こちら、三木市のほうの取組でございますけれども、公共交通の利用による観光客数の増加を図るため、本年10月の市補助路線バスの見直しによりまして、三木別所観光ルートという路線がありますけれども、こちらのほう、三木鉄道記念公園前を経由するルートに変更しまして、公共交通の利用、観光客数の増加を図っておるところでございます。

それから、一番下になりますけれども、21番ですね、「駅の空きスペースや駅前空間の活用」ということで、さきほど御報告させていただきましたが、恵比須駅前ロータリーにおける出張販売の取組、本年度、新たな取組ということでこちらのほうに掲載しております。

1ページめくっていただけますでしょうか。事業番号23番というところですが、神戸市様における「新開地の活性化、都心・三宮の再整備」ということで、兵庫区役所新庁舎オープン、本年8月の取組等を記載しております。

それから、その下の25番です。事業番号25番「神鉄トレインフェスティバルの実施」ということで、毎年恒例の大変たくさんのかたに御来場いただいておりますけれども、神鉄トレインフェスティバルも本年度も実施をしております、2,000人を超えるかたに御来場いただいたというところがございます。

事業番号27番ですが、こちら、「地域住民・組織・団体の主体的な取組のサポート・推進」ということで、神戸電鉄利用促進活動補助金の交付の実績を記載しております。併せまして、粟生線サポーターズクラブの運営サポートということで、粟生線サポーターズクラブにおきましても運営委員のかたが中心になりまして、各種イベント、取組等を実施いただいております。その辺りの実績、現時点の実績を記載しておるところでございます。

1ページめくっていただけますでしょうか。

事業番号31番「地域内のイベントや施設・団体等との連携による地域活性化」ということで、その中に「粟生線乗ろうDAY!プログラム」とありますけれども、その項目の中の一番下、「電車に乗ってハッピークリスマス」を先日12月15日に実施いたしましたして、子育て世帯を対象としたイベントとなっております。参加者数114人ということで、こちらのほうの開催をしております。

それから、目線を下のほうに移していただきまして、事業番号33番「ハイキングイベントの開催」ということで、神鉄ハイキング、本年度も積極的に開催いただいております。1万人を超えるかたに御参加いただいておりますというところでございます。

その下の34番でございます。「地域との協働による季節や地域らしさを感じられる取組の実施」といたしまして、七夕にちなんだ駅の装飾あるいは列車の運行、それから、クリスマス装飾列車の運行というところを本年度も開催をしております。

1ページめくっていただきまして、事業番号36番でございますけれども、「沿線内の施設、イベント、他の公共交通と連携した企画きっぷ等の充実」ということで、本年度、「神鉄おもてなしきっぷ」の販売ということで、対象店舗数を湊川駅を中心に増やしております、その影響もありまして販売枚数2,572枚ということで、前年対比で300枚以上増加しておるところでございます。

それから、三木市ふるさと納税における返礼品、それから、神戸市ふるさと納税における返礼品ということで、それぞれ昨年度に引き続き、ふるさと納税の取組を継続しておるところでございます。

一番下の事業番号37番でございますけれども、「神鉄シーパスイオン・神鉄シーパスインプラスの販売」、こちら、神戸市様の取組、その下は「三木市神戸電鉄福祉パスの販売」ということで、三木市の取組となっております。こちらのほうも販売実績、昨年度と比べまして、それぞれ増加をしておるところの実績値を記載しております。

資料8の説明につきましては、以上とさせていただきます、続きまして、資料9のほう、令和元年度のモビリティ・マネジメントの取組状況について確認させていただきます。こちら記載項目がたくさんございますので、抜粋するような形で御説明できたらと思います。

一番左側の縦に番号を振っております。こちらのほう、読み上げしますので、確認いただけたらと思います。

まず、3番でございますけれども、こちら、神戸市様の取組となっております。シルバーカレッジの学生に対するモビリティ・マネジメントということで、神戸市の総合交

通体系の説明でありますとか、意見交換、その辺りを実施いただいております。

それから、事業ナンバー5と7でございます。こちら、三木市と、それから、神姫バス様にも御協力いただいて、実際にモビリティ・マネジメントの会場までバスを配車いただきまして実施した取組となっております。東吉川小学校1、2年生の児童、それから、緑が丘アフタースクールの1年生から4年生の児童に対するバスの乗り方教室等の開催というところでございます。特に、7番のほうの緑が丘アフタースクールの取組の際には、神姫ゾーンバス様にも一緒に御参加をいただいて実施しておりますので、御報告させていただきます。

1ページめくっていただきまして、一番上の9番、口吉川ふれあいまちづくり協議会ふれあいバス部会と三木市の取組を掲載しております。以前からこちらのほうのモビリティ・マネジメントの取組の中に、細川地域の細川ふれあいバスの取組として買い物体験ツアー「細川バス体験乗車会」というのを実施しておりましたが、その取組の輪が広がって、口吉川地域にも同じような取組が広がっております。その取組を記載しておりますけれども、地域ふれあいバスや路線バスを乗り継ぎまして、大型商業施設の買い物に出かける「買い物バスツアー体験会」の実施ということで、実施されております。こちら、ニコパカードの周知・PRも併せて取組をさせていただきます。

それから、1ページめくっていただきまして、9-3ページを御覧いただけますでしょうか。

こちらナンバー18、19、20、それから、番号が飛びますけれども、22、24と、三木市の取組といたしまして、子育て世帯へのモビリティ・マネジメントということで、各公民館で開催されております乳幼児学級というのがあります。そちらの保護者、それから、子ども様宛てにモビリティ・マネジメントを実施しております。内容としては「栗生線スタンプラリー」でありますとか、「電車に乗ってハッピークリスマス」等の協議会イベントですね、こちらのほうの周知・PRでありますとか、さきほど御説明しました「栗生線&バス乗継ガイド」の配布、それから、三木市でも独自に公共交通総合時刻表を作成しておりますので、その辺りの配布に併せまして、栗生線サポーターズクラブの概要説明も行ってございます。こちら、合計しますと507人のかたに御参加いただいたというところでございます。

1ページめくっていただきまして、9-4ページでございますけれども、こちら、職場におけるモビリティ・マネジメントということで、いわゆる企業等に入りまして公共交通の利用促進を促すような取組として記載をしております。ナンバー1から4まで三木市における三木工場公園へのアクセスバスの充実検討の取組を記載しております。現在、神姫バス様の三木営業所から三木駅前に福有橋というバス停がございますけれども、そちらのほうを経由して工業団地であります三木工場公園のほうに路線バスが通っておるわけなんですけれども、往路、行きは朝7時台に1便、復路、帰りのほうは夕方5時台に1便のみの運行となっております。こういったところのアクセスの充実を図ることで、鉄道とバスの利用促進につながるのではないかとこの視点で、工業団地の組合でありますとか、個別企業に入らせていただきまして、アンケートや意見交

換、利用意向の把握等を行ったり、それから、ニコパカード利用での市内一律運賃制の周知・PRも併せて図っておりまして、その辺りの動きをこの表に記載をしております。今後も、引き続き、充実検討の協議を進めていくというところになっております。

以上、駆け足でしたが、資料8と資料9の説明とさせていただきます。

○会長

ありがとうございました。資料8、資料9について何か御意見等はございますでしょうか。

はい、〇〇さんどうぞ。

〇〇〇委員

少し補足なんですけれども、網形成計画も中間年度で、評価もされるということで、さきほど評価方針の説明があったところなんですけれども、現時点でこの取組の中で申し上げられる範囲で申し上げておきますと、まず、車両の新造を5編成、この5年間でやるということにつきましては、おかげさまで国のほうも大きく予算を取っていただきまして、この3年間で達成できる見込みでございます。あと、昨年、非常に災害等が多くて、鉄道施設もかなり被災をしたんですけれども、その復旧に当たりましては補助金等を御支援いただきまして、早急に復旧もできまして、今年度もちょっと今直しているところがあったりもするんですけれども、大過なく、列車を止めることなく運行ができているという意味で、安全で、かつ安定した輸送を保っているということですので、そちらについてはもう皆様の御支援があって成り立っているということで、この場でお礼申し上げたいと思います。

あと、利用促進なんですけれども、さきほどの利用状況の説明でも厳しい状況だということをお説明をさせていただいているところではありますけれども、ただいろんなことをこうやってやっていますと、それが季節の風物詩といいますか、なんかそういうふうになってきて、例えばこのクリスマスの装飾列車などは、今年はNHKさんでもそういう風物詩として取り上げていただいて、ニュースでも報道されたというようなことになってきていまして、そういうのがありますと、やっぱり地域のかたにもなかなかふだん粟生線を利用してなくても、神戸電鉄で乗っていたなとか、こういうことやっているんだとかということといい効果が生まれてくるかと思っておりますので、それは地道にやっていくこと、継続は力なりと言いますけれども、そういったことは大事かなと。ただ、やみくもにやりますとそういうのも薄れてきますので、よく効果を検証していただいて、残すべきものとそうでないものということをやっているだけでいいかなと思います。

以上です。

○会長

ありがとうございました。

たかがイベント、されどイベントというような話だったかと思いますが、ほかに御意見はございますでしょうか。

ありがとうございました。ないようでしたら、報告事項は全て終了させていただきます。

全体を通して何か御意見、また、御質問等がありましたら、挙手にてお願いをいたします。

よろしいですか。どうぞ。

〇〇〇委員

情報提供みたいな形になるんですけども、12月のはじめに警察庁のほうで道路交通法の改正の記事がちょっと出まして、高齢者のかたは免許の更新のときに検定を受けなければ、それに合格しなければ、免許が継続できないというのを2025年施行を目指すという記事が出ました。これについてちょっと情報はないかということやっただんですけども、本部のほうもまだ新聞記事以外はちょっと入ってきておりません。今後、改正案が作られていくと思うんですけども、25年に施行されるとなれば、前回の29年の高齢運転者の対策のときもそうだったんですけども、2年前ぐらいから徐々に返納者が増え出して、1年前、2024年にはまただいぶ増えてくると。25年になれば合格しなかったかたもまた増えてくるということで、高齢者のそういうかたへの対応というの、今後、また、考慮されていかなければいけないということになってこようと思いますので、そういう改正が今進んでおるということで、情報提供をさせていただきたいと思います。

以上です。

〇会長

はい、ありがとうございます。

ほかに御意見、また、情報提供でもけっこうでございます。ありましたら、よろしくお願いたします。

では、ないようでしたら、会議の次第は終了いたしましたので、マイクを事務局に返します。

〇事務局

会長、どうもありがとうございました。

それでは、これをもちまして第39回神戸電鉄粟生線活性化協議会を閉会いたしたいと思っております。

委員の皆様におかれましては、本年も大変お世話になり、誠にありがとうございました。来年も引き続きまして、神戸電鉄粟生線沿線地域の活性化の取組等につきまして、何とぞ御協力を賜りますようお願いをいたします。

最後になりましたが、寒さ厳しい折、御自愛の上、よい新年をお迎えくださるようにお祈りを申し上げまして、最後の御挨拶とさせていただきます。

本日はどうもありがとうございました。